

# 令和8年度 主な事業

- ◆つながる**
- ① デジタルノマド誘致に向けた地域おこし協力隊員の配置  
デジタルノマドの誘致に向け、新たに地域おこし協力隊を配置し、コワーキングスペースや滞在宿泊施設の情報提供等を進めることで関係人口の創出・拡大を図るもの。  
・ 事業費（隊員報償費と活動費補助金） 457万円
- ② 二地域居住コーディネーターの配置  
昨年度に新たに配置したコーディネーターを継続し、二地域居住に関する情報発信や相談体制の強化、滞在施設の設置等を進めていくもの。  
・ コーディネーター報償費と活動費補助金 500万円
- ③ 事業承継の推進  
市内事業所の事業承継を促すため、事業承継支援機関に委託し、金融機関向け研修会の開催や事業所訪問を実施するもの。  
・ 事業承継推進業務委託 95万円
- ④ 沼田市との姉妹都市提携60周年記念事業  
群馬県沼田市との姉妹都市提携が60周年を迎えることから、8月に開催される沼田まつりへの市民号による訪問や物産展等を企画。  
・ 実行委員会補助金 90万円ほか

- ◆グローバルCI  
TYPプロジェクト**
- ⑤ 高等学校等通学費補助金の新設  
保護者の経済的な負担軽減による子育て・就学支援、高等学校の存続による地域力の維持、公共交通の利用促進による渋滞緩和等を目的に通学定期費用に対する補助を行うもの。  
・ 高等学校等通学費補助金 900万円
- ⑥ 芸術文化・スポーツの振興（補助制度の新設）  
芸術文化・スポーツの振興に向け、新たな補助制度を設定。  
・ 文化イベント等開催支援補助金 30万円  
・ 文化・スポーツ指導者養成費補助金 5万円
- ⑦ 新しい文化と交流の創出拠点となる施設整備に向けた検討  
教育委員会移転後の中央公民館の有効活用を図るとともに、図書館機能と公民館機能の一体化による新しい生涯学習拠点の整備を目指すもの。  
・ ワークショップ開催経費 60万円

- ◆危機管理投資**
- ⑧ 学校体育館への空調設備の設置  
避難所機能の強化と教育環境の改善を図るため、下田中学校屋内運動場（体育館）と武道場に空調設備を設置するもの。  
・ 実施設計 672万1千円
- ⑨ 災害対策用品等  
自助の強化を図るため、災害対策用品（防災リュックなど）を購入した費用の1/2、1件当たり上限5千円を補助するもの。  
・ 災害対策用品等購入費補助金 100万円
- ⑩ 耐震改修支援制度の推進  
地震による住宅の倒壊を防ぎ、一人でも多くの命を救うため、昨年度から安価で効果的な耐震改修（低コスト工法）に対する独自支援制度を設け、木造住宅の耐震改修を推進。  
・ 木造住宅耐震改修事業費補助金 1,450万円  
・ 防災ベッド整備事業費補助金 40万円ほか
- ⑪ 伊豆縦貫道建設促進事業（仮称）  
下田北インターチェンジ周辺において、地域振興や防災等の多機能な拠点となる道の駅整備に向けた基本計画の策定費用のほか、（仮称）箕作広場の整備工事費等を計上。

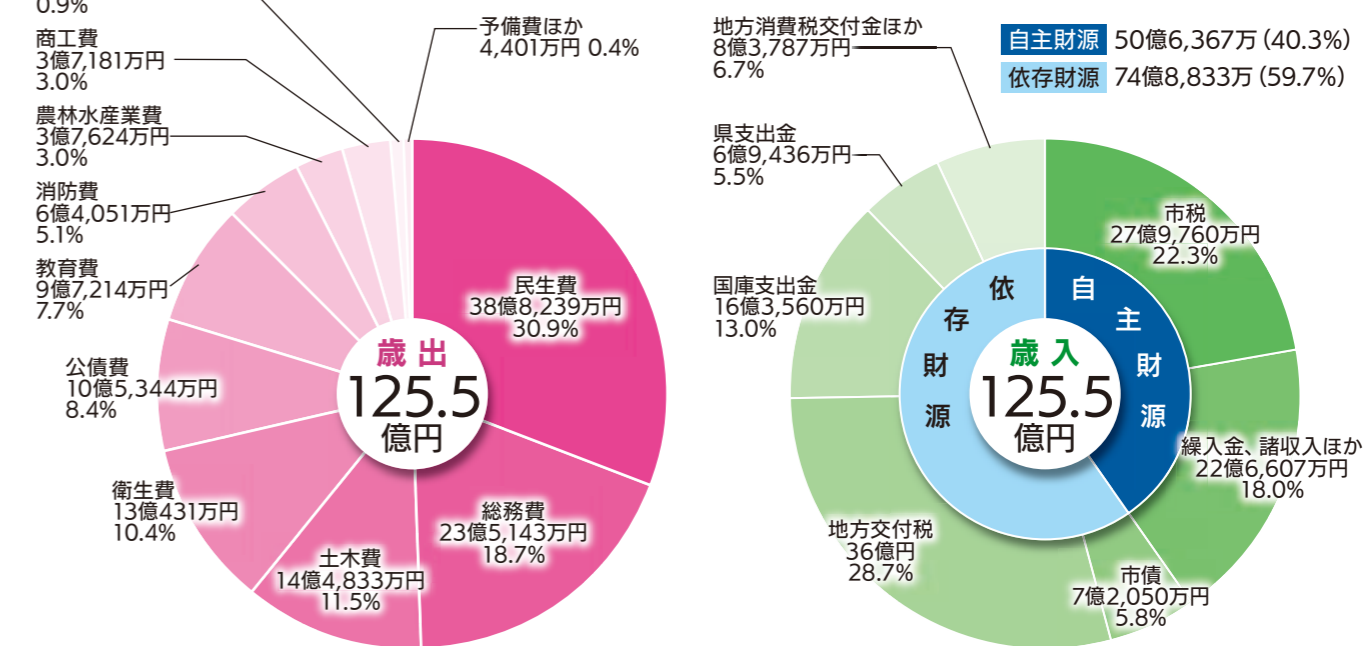
- ⑫ 消防団第6分団統合詰所整備事業  
津波浸水域内にある第6分団第1部詰所（吉佐美）及び老朽化した第6分団第2部詰所（大賀茂）を統合・再編し、地区防災センターを備えた新たな消防団詰所を整備するもの。  
・ 第6分団統合詰所建設工事監理業務委託 350万円  
・ 第6分団統合詰所建設工事 1億3,000万円
- ⑬ 田牛漁港海岸保全施設整備事業  
田牛地区において、静岡県第4次地震被害想定（レベル1）に応じた海岸保全施設（堤防・水門・陸間）の整備を行い、津波被害の軽減を目指すもの。  
・ 護岸設置工ほか 1億3,000万円
- ⑭ 庁舎建設事業  
5月の全面開庁に向け、施工中の外構工事のほか、移転関連費用を計上。移転後の東本郷庁舎用地については、PFIやPPP等の事業手法も含め、伊豆急下田駅周辺地区一帯としての整備基本構想を策定していく。  
・ 新庁舎整備工事（外構） 5,300万円ほか



当初予算規模は、一般会計及び特別会計等を合わせて、218億3,080万円、前年度に比べ7億5,520万円、3.3%の減となり、各会計間の重複額を除いた純計額は、204億3,154万4千円で、前年度に比べ8億3,307万5千円、3.9%の減となりました。一般会計は125億5,200万円で、前年度に比べ10億6,800万円、7.8%の減となりました。

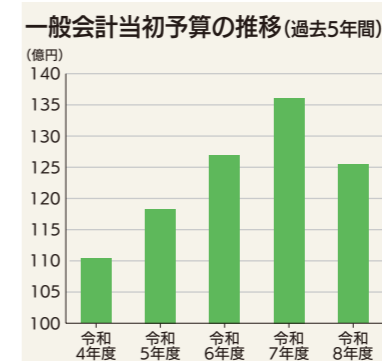
一般会計の歳入（性質別）については、自主財源が50億6,367万2千円で歳入全体の40.3%を占め、前年度に比べ6,654万9千円の減、依存財源は74億8,833万8千円で歳入全体の59.7%を占め、前年度に比べ10億1,455万1千円の減となりました。

## 一般会計予算125億5,200万円の内訳



## 歳出の性質別構成比率

性質	区分	構成比率
義務的経費 43.7%	人件費	19.4%
	扶助費	15.9%
	公債費	8.4%
消費的経費 35.3%	補助費等	16.8%
	物件費	18.1%
	維持補修費	0.4%
投資的経費 8.5%	普通建設事業費	8.5%
	災害復旧事業費	0%
	その他の経費 12.1%	繰出金
	積立金	2.6%
	投資及び出資金	0.5%
予備費 0.4%	予備費	0.4%



◎用語解説  
**一般会計**：市の行政運営に係る基本的な経費を計上した会計  
**特別会計**：一般会計の歳入歳出と区別して別に処理するための会計  
**自主財源**：市が自主的に収入できる財源  
**依存財源**：国や県から交付される収入

## 特別会計及び事業会計当初予算

特別会計	予算額	増減率
稲 梓 財 産 区	200万円	-9.1%
下田駅前広場整備事業	730万円	-2.7%
公共用地取得	400万円	-79.8%
国民健康保険事業	28億5,300万円	-2.2%
介護保険	27億3,700万円	0.5%
後期高齢者医療	5億3,700万円	8.5%
水道事業	12億2,380万円	-2.9%
公共下水道事業	18億7,860万円	24.9%
漁業集落排水事業	3,610万円	-1.9%
<b>合 計</b>	<b>92億7,880万円</b>	<b>3.5%</b>